

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・55〉 いわき市立 藤原 小学校
＜実施日＞	平成28年7月11日（月）13日（水）15日（金）
＜実践教科等＞	※当てはまる番号に○を付けてください。4は（ ）に教科等を入れてください。 ① 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他（ ）
＜実践内容＞	1 アンケートの実施（放射線等に関する指導資料第5班巻末より） ○放射線に関する理解が不足している。 ○放射線に関して不安に思っていることがある。 ○事故当時の様子について記憶が薄れている。 2 実践内容 （1）1時目（理科）「放射線の性質」…資料「放射線ってなあに？」 ①放射線の発見と利用 ②放射線の種類と性質 ③放射線の体への影響 ④内部被ばくと外部被ばく （2）2時目（理科）「放射線量をはかろう」 ①8班に分かれグループごとに学校敷地内放射線量測定（線量計の使用） ②結果の発表 ③放射線量が高いところはどこだろう ④測定値から外部被ばく線量を計算する （3）3時目（学活）「放射線から身を守る」…資料「ふくしまの環境」など ①全国の放射線量と福島県の放射線量の違い ②県や市の取り組み ・本校校庭の表土除去により空間線量半減 ・野菜・米・牛乳・水道水及び給食の線量発表（きのこ、山菜は高い） ・ホールボディーカウンター、甲状腺検査 ③身を守る方法 ・土や砂を体に入れない。・うがい・手洗い、マスク 3 2回目のアンケートの実施
＜成果＞	○放射線に関する知識が以前より高まった。 ○放射線に関する不安が以前より解消された。 ○アンケートにより実態に合わせ授業を計画できた。
＜課題＞	○放射線を実際に見せるのは簡単ではない。 ○総合・理科・学活と横断的に指導するための年間計画。 ○体験活動や聞き取り、調べ学習などを計画的に取り入れた授業。 ○福島県環境創造センターの活用。
資料作成担当者職（教諭）氏名（ 小松淳一 ）	学校電話番号（42-3236）

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日（月）までに電子メールで送信してください。
（送信先：kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp）